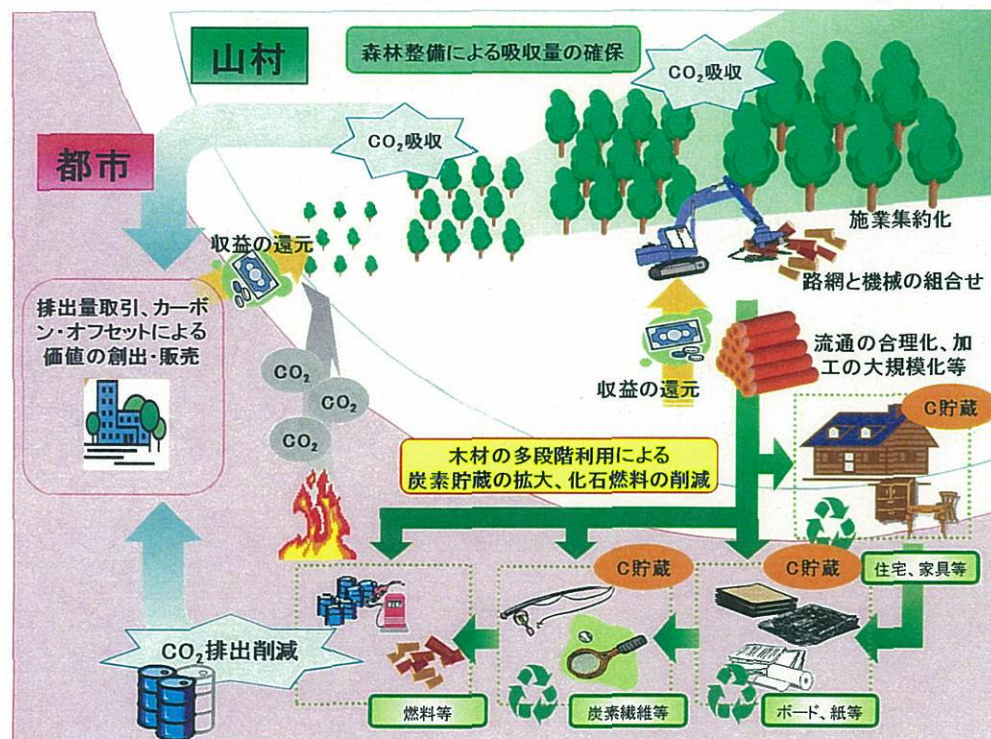


① 森林資源による低炭素社会の構築と林業の再生

1. 森林・林業を取り巻く情勢の変化

- 森林は、二酸化炭素の吸収や再生産可能で炭素の貯蔵機能等を有する木材の生産を通じ、地球温暖化の防止に向けた低炭素社会の実現に重要な役割を担っている。このため、森林資源の整備・利用については、間伐等による森林整備、地域材の住宅等への利用拡大、未利用バイオマス資源の資材・エネルギーへの利用拡大を促進する必要がある。
- こうした新たな取組を通じて山元への収益の還元や山村地域での雇用の創出が図られることにより、我が国経済の安定成長に必要な内需の拡大が期待できるが、これらを実現するためには人材への投資が不可欠である。

低炭素社会と森林（概念図）

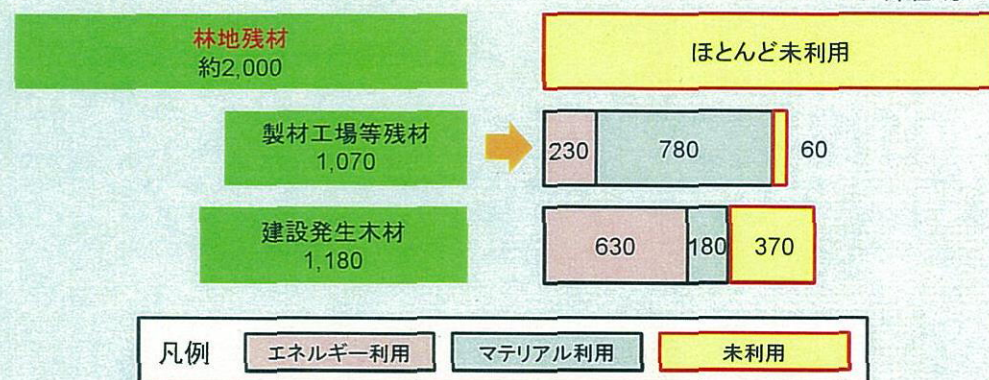


木質バイオマスの発生量と利用の状況（推計）

発生形態別木質バイオマス資源量

利用状況

（単位：万m³）



資料：林野庁業務資料

木質バイオマスボイラーの導入による国内クレジットの認証

福岡県八女市の温泉施設Bでは、商社M社及び電力会社K社の資金協力を得て、温泉加温用のボイラーを、重油焚きボイラーから木質バイオマス利用ボイラーに転換。これにより、平成20年度から平成24年度までの5年間に、年平均約610トンの二酸化炭素の排出が削減され、国内クレジットが発行される見込み。

